

第2学年3組 国語科学習指導案

期日 平成26年

場所

指導者

1 題材名 きずなを読む 「字のない葉書」 向田邦子（光村図書：P108～P112）

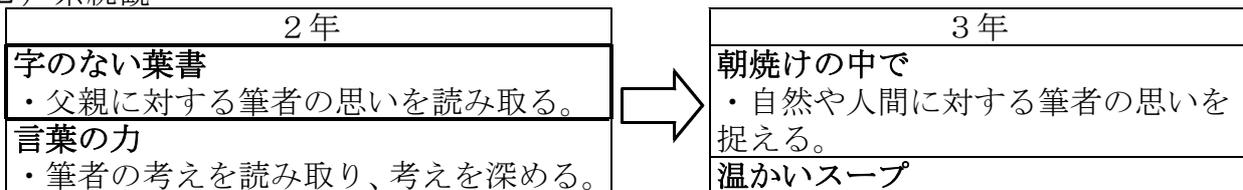
2 題材について

(1) 題材観

「字のない葉書」は、小説・随筆などの作品も多く残した放送作家、向田邦子氏の随筆である。分かりやすい言葉づかいとテンポがよい文章による、わずか4ページの作品であり、一気に読ませてしまううまさがある。繊細な目でとらえた事象を的確に表現し、読者の脳裏に視覚化して焼き付けるような描写は大きな魅力である。中学2年生の生徒にとっても、自分と家族とのつながりを捉える機会としてふさわしく、ぜひ味わいたい作品である。

作品には筆者の父の思い出がユーモアを込めてつづられている。作品中の父親は日常は怖く厳しいが、照れ屋で家族思いである。優しい姿はほとんど見せないが、娘が自分の元から離れると心配でたまらなくなる。そして、父が泣く姿を見て、筆者は親子のきずなの強さ、愛情の強さを温かく感じている。筆者のそういう思いまで読み取らせるとともに、父親自身の家族に対する思いも読み取らせたい作品である。

(2) 系統観



(3) 生徒の実態

本学級は 男女の仲が良く、休み時間等には笑顔で話をしている。また、指示したことや頼んだことについても快く引き受け、即実行できる生徒も多くいる。時折、友達に向けての心ない言葉が聞かれたり、授業中の怠惰な行動が見られたりするものの、周りが注意し合えるような雰囲気も持っている。

国語科アンケート

9月8日実施

4:好き・できる 3:どちらかというところ好き・できる 2:どちらかというところ嫌い・できない 1:嫌い・できない

No.	項目	4(%)	3(%)	2(%)	1(%)	肯定的(%)	否定的(%)
1	国語は好きですか。	25.0	55.6	19.4	0.0	80.6	19.4
2	登場人物の心情を、文章から考えることができますか。	8.3	72.2	16.7	2.8	80.6	19.4
3	自分の考えをまとめることはできますか。	27.8	61.1	11.1	0.0	88.9	11.1
4	自分の考えを全体の場で発表することはできますか。	11.1	30.6	55.6	2.8	41.7	58.3
5	グループで意見を紹介しあったり、交流したりすることはできますか。	61.1	33.3	5.6	0.0	94.4	5.6

平成25年度「県学力調査」観点別結果

項目	関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語の知識・理解・技能
県	75.8%	55.2%	68.3%	55.8%	57.5%
本校	79.2%	53.2%	71.5%	60.3%	60.2%

小問別定着率結果

問題番号	領域	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点	知識活用	定着率(県)	定着率(本校)
3(1)	読むこと	展開や描写に注意し、内容の理解に役立てること	文章中の場面の展開や行動、情景描写に注意して読み進めること。	読む	知識	69.8%	66.8%

アンケートの結果から、国語に対して好意的にとらえている生徒や自分の考えをまとめることができると考えている生徒が多いものの、みんなの前で発表することに苦手意識を持っている生徒が多いことが分かる。自分の考えに自信が持てないことや周りの反応を気にしていることがうかがえる。また、県学力調査の結果から、観点別の読むことは県平均を上回っているものの小問別に見ると課題があることも分かる。

#### (4) 指導観

まずは、きちんと本文の内容をとらえさせたい。そのために毎時間、授業の導入で基礎的・基本的な知識・技能に関するクイズ形式の問題を出題し、時間の流れや登場人物等を学級全体で押さえていく。また、筆者の考える父親像をとらえさせるために、父親の言動や様子が分かる文章にサイドラインを引かせる等の本文を根拠にした考えをまとめさせる。さらに、自分の考えに対して自信をもって発表できるように、机間指導の中で「認め、励ます」声かけを充実させるとともに、グループ活動後の発表は個人の意見としてでなくグループの意見としての発表の形をとっていく。

##### ○学習訓練の徹底

- ・「聞く」ときは「聞く」、「書く」ときは「書く」などの各活動でのめりはりを付けて指導する。
- ・音読の際には、きちんと本を持ち、張りのある声で読むように指導する。
- ・話し合いの場では、全員が発言し、話し合いに参加できるように、自分の考えをしっかりとらせる活動を取り入れる。また、意見を集約する活動も取り入れる。
- ・ノートには、きちんと字形を整えて書くことを指導する。また、学習を通して自分の考えが変わったり深まったりしたことを実感できるような活動を大切に、学習の達成感を味わえるような工夫をする。

##### ○基礎から活用へとつなぐ指導の工夫

- ・徹底指導に関しては、徹底に関しては、押さえるべき内容（時代背景や時間の流れ、登場人物、場面の展開等）をICT機器等を活用し、全体で押さえる。また、音読の活動を毎時間取り入れることで、内容をとらえさせる。
- ・活用へとつなぐ場面では、グループでの交流を通して、サイドラインを引いた父の言動や様子が分かる文を根拠に、自分の考えをさらに深めさせる場面を設定する。

##### ○言語活動

- ・国語科では「単元（題材）を貫く言語活動」を設定している。今回の題材では、「内容や表現について自分の考えをもち、交流させよう」という言語活動を設定している。筆者の考える父親はどんな人物かを毎時間考えていく。個人で考えた意見を、グループで交流し合い、その後個人で考えをまとめるという活動を行っていく。

##### ア 校内研修の視点

- ・本校研究主題 「教科等の目標の実現に向けた言語活動の充実」  
～基礎から活用へとつなぐ「わかる授業」の工夫～
- ・国語科研究テーマ

「社会生活に生きて働く思考力・判断力・表現力をはぐくむ国語科授業の展開」

本題材では、自分の考えを発表し、友達のことを聞くことを通して、さらに自分の本文を根拠に考えをまとめていく。このことは、周りの意見やアドバイスを参考にして、自分の読みを深めていくために必要なことだと考える。

##### イ 道徳教育との関連 [価値項目4-(6)]

父親の言動から、家族に対する思いをとらえることで道徳的な心情を育てる。

##### ウ 人権が尊重される授業づくりの視点

1人1人の意見を尊重するために、どの意見に対しても、受容的態度を取ることができるよう指導していきたい。また、1人1人の意見を考えたり、深めさせたりするときには、しっかりと時間を取ることを意識したい。板書等では、授業の流れが見えることや文字の大きさ等に配慮しながら授業を進めていきたい。

### 3 題材の目標

- (1) 人物の言動や様子を描いた表現に着目して、その人柄や心情をとらえることができる。(読むこと イ)  
 (2) 父親に対する筆者の思いを読み取り、自分の考えをもつことができる。(読むこと エ)

### 4 題材の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
アー1 「内容や表現について自分の考えをもち、交流させよう」		
①内容や表現の仕方について、注意して文章を読もうとしている。 ②課題について自分の考えをもち、交流して考えを深めようとしている。	①登場人物の言動の意味などを考えて、内容を理解し、自分の考えを持っている。(イ) ②文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをまとめている。(エ)	①慣用的な表現や多義的な意味を表す語句の意味・用法に注意して読んでいる。(イ (イ))

### 5 指導計画及び評価基準（3時間扱い）

時	主な学習活動	関	読	言	評価基準及び評価方法
1	・新出漢字や難語句について確認する。 ・文章を通読し、感想をまとめ、父の人柄を考える。	◎		○	<b>関心・意欲・態度①</b> (観察・ノート) 作品を読み、時代背景や登場人物の関係をとりえて、感想を書いている。 <b>知識・理解・技能①</b> (観察・ノート) 本文中の表現や難語句について、辞書を使って調べ、まとめている。
2	・本文中に表れている父の言動や様子から、父の人柄を考える。		◎		<b>読む能力①</b> (観察・ノート) 本文中に表れている父親の言動や様子から、父親の人柄についてまとめている。
3 本時	・前時に考えた父の人柄をグループで交流し、筆者の考える父親の人柄について自分の考えをまとめる。	○		◎	<b>関心・意欲・態度②</b> (観察・ノート) 父親の人柄や思いについて交流して考えを深めようとしている。 <b>読む能力②</b> (観察・ノート) 筆者の考える父親の人柄を交流を通して考えを深め、自分の言葉でまとめている。

6 本時の学習

(1) 本時の目標

○筆者の考える父親について自分の考えをまとめることができる。(読むこと エ)

(2) 展 開

過程	時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 評 価	備 考
導入	10	1 新出漢字や登場人物について復習する。	<b>徹底指導</b> (ポイント) ◎作品を読み深めさせるために、新出漢字や登場人物についての復習を全体で行う。	電子黒板
		2 めあてを確認する。	○全員で音読し、意識を高めさせる。 <b>本時のめあて : 筆者は父親をどんな人として考えていただろうか?</b>	電子黒板
展開	35	3 本文を音読する。	○音読を行うことで、内容や漢字の読み等を確認をさせる。	
		4 前時に考えた父親の人柄について、グループで交流し合う。 <b>【言語活動】</b> 設定の意図本文中の表現から、登場人物の人柄についての考えを交流し、意見をまとめる。	<b>能動型学習</b> (ポイント) ◎各グループで意見を集約させる活動を通して、話し合いが停滞しないようにする。 ○交流活動が活発になるように、課題を明確に提示する。 ○誰かの意見だけにとらわれないように、みんなの意見を尊重させるように指導をする。 ○グループでの意見を集約する際には、どこを根拠としたか、ワークシートに明記させる。	ワークシート 電子黒板
		5 グループの意見を全体で発表し、交流する。	○交流の場面で、どの考えが良いかを確認し、個人の読みを深めるヒントにする。	電子黒板 ワークシート
		6 筆者の考える父親について、一文から二文で自分の考えをまとめる。	○個人だけの意見にとらわれず、グループ内が出た意見や学級全体が出た意見を参考にしながら、自分の考えをまとめさせる。 ○1人1人の考えをほめながら机間指導する。 <b>◆読む能力①</b> <b>B基準</b> 本文を根拠にして、父親の人柄についてまとめている。 <b>A基準</b> 本文を根拠にして、父親の人柄や家族への思いについてまとめている。 <b>〈B基準に達していない生徒への指導〉</b> ○父親の言動や様子が分かる表現を再度確認し、全体が出た意見を参考にさせながらまとめさせる。	ノート
整理	5	7 本時の学習を振り返り感想を書く。	○今までの父親の人柄についての自分の考えがどう変わったかを確認させる。 ○自分の取組を振り返らせ、感想を記入させることで自分の頑張りを認めるよう助言する。	ノート